

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 31 日

事業所名 児童サポートこころ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	活動を室内・庭に分けて行っている。	・今後も継続して安全な環境スペースの確保に務める。
	2 職員の配置数は適切である	6	0	0	・急遽休みのスタッフがでて、対応できるように調整していく。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	0		・入口前階段が心配。 ・入口階段に関しては、スタッフ付き添いを強化する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0		・今後も継続して取り組んでいく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	・保護者が話しやすい環境作りを心がけている。	・保護者の意向やご意見を職員で話しあい業務改善を行っていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		・事業所内・ホームページに掲載している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	0		・定期的に他事業所の代表へ業務改善の意見交換を行っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	0		・今後も研修の参加を、全職員へ周知徹底していく。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		・今後も研修の参加を、全職員へ周知徹底していく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	・アセスメントツールを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		・児童が積極的に参加できるプログラムの作成にチームで行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		・活動内容が、固定化しているので新たな活動内容を取り入れていく。 ・個別活動と集団活動のニーズを把握し、組み合わせで作成している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	・学校課題を把握し、休み期間中の目標設定を個々に応じて対応している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		・個別活動と集団活動のニーズを把握し、組み合わせで作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		・継続で行っていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0		・継続で行っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		・電子システムを活用し、円滑に記録が行えるよう努めている。定期的に、記録の見直しを行っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		・課題整理を強化していく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	0	・いつでも回覧できるようにガイドラインを揃えている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6	0	0	・早急な連携体 制ができるよう日 頃から、連携体 制を整えている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	5	1	0		・現時点では、医療的ケア児はいないが、今 後必要に応じて連携体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0		・積極的に、情報共有を行っており、今後 も、継続しておこなっていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	2	0		・これまで、障害福祉サービスへの移行者 はいないが、今後、必要時に情報提供でき るよう支援している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	5	1	0		・研修等の参加を強化していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	0	・他事業所とも合 同活動を行って いる。今後も継続 して計画してい く。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	3	0		・これまで参加は行っていないが、自立支援 協議会の役割等も含め勉強会を行ってい る。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	0	0	・個々の発達状 況に応じて対応 検討会を行って いる。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	6	0	0	・ペアトレも含め 親子会等も活用 し支援を行って いる。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	0	0		・今後も継続で行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行 っている	6	0	0	・SNSを活用し、 いつでも困り感 や情報共有を行 えるようにしてい る。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	6	0	0	・これまでも2回/ 年親子会を開催 しており親同士で の連携ができて いる。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6	0	0	・早急に対応でき るようスタッフ間 で周知し、その都 度対応できるよう にしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	0	0	・毎月の活動予 定を案内してい る。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	・個人情報取扱 いの社内研修を 行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	・SNSを活用し、 いつでも困り感 や情報共有を行 えるようにしてい る。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	0	・地域イベント企画を行っている。 (メルシーこころ子ども祭りin塩屋)	・今後も地域活動に積極的に参加していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	・看護師スタッフを中心とした研修を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	・自治会との災害協議会への参加にて防災意識を高めている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		・定期的に虐待防止研修に参加し、社内研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		・現時点で、対象児童はいないが、身体拘束についての研修を強化している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	・医療(アレルギー-)の研修を行っている。	・食事おやつ等、医師の指示を貰いながら今後も対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0		・毎日のミーティングにて協議を行っている。